

大正15年に小田原で生まれ、水原秋櫻子に師事し、「馬酔木」を経て

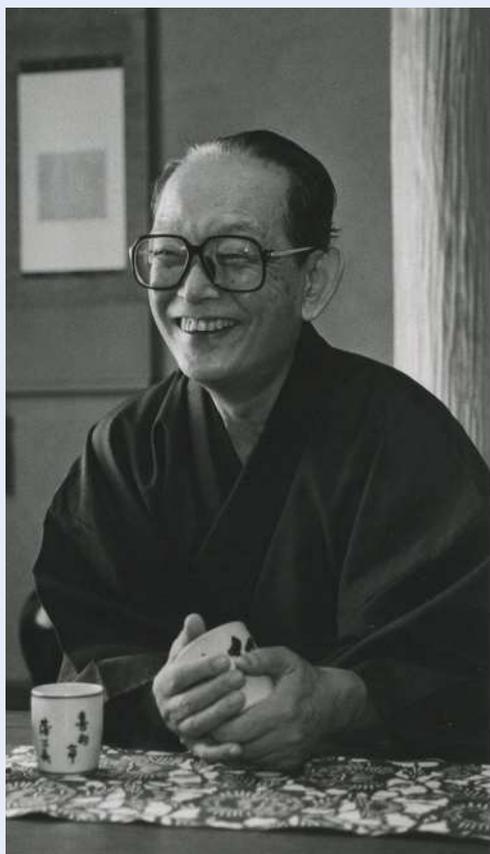
「鷹」を主宰した俳人・藤田湘子の没後10年の回顧展。

本展では、明治以降に展開した近代俳句の動向を踏まえつつ、

湘子の業績や交友関係などを紹介します。

没後10年記念 小田原文学館特別展

藤田湘子と近代俳句



藤田湘子（ふじた しょうし）

大正15年〜平成17年。小田原生まれ。昭和18年より水原秋櫻子に師事。「馬酔木」に投句。同誌同人を経て32年より編集長。39年「鷹」を創刊、主宰。句集に『途上』『一個』『黒』『前夜』ほか。

小田原文学館には「愛されずして沖遠く泳ぐなり」の句碑がある。

会場：小田原文学館

会期：平成27年3 / 21(土・祝) ~ 5 / 10(日)

主催：小田原市立図書館

問合せ：小田原市立図書館 0465-24-1055



藤田湘子は、大正15年に小田原で生まれました。

16歳のある満月の夜、お堀端の桜のつぼみを見て、「何か表現力を身につけよう」と決意し、俳句を作り始めます。やがて湘子は、写生俳句に清新な抒情性を流し込んだ水原秋櫻子に入門し、23歳で俳句会「馬酔木」同人となります。

昭和30年には、序を師秋櫻子、跋を兄弟子石田波郷が手がけた処女句集『途上』を上梓、みずみずしい感性は好評で前途を嘱望されました。

波郷の跡を継ぎ、俳誌「馬酔木」編集長となった後、昭和39年には、俳句の実作や批評を活発にすることを目的に俳誌「鷹」を創刊し、現代詩と競う方法論と美学を磨き上げていきます。さらには三年間に及んだ「一日十句」の千日回峰行を経て、晩年には自在の境地に達しました。

揚羽より速し吉野の女学生

愛されずして沖遠く泳ぐなり

うすらひは深山へかへる花の如



没後10年記念 藤田湘子と近代俳句



藤田湘子（『藤田湘子』春陽堂、平成5年より転載）

学芸員による展示解説

開催日 3月28日(土)・4月5日(日)
4月25日(土)・5月3日(日)・祝
開催時間 午後1時半と午後2時半の2回
(いずれも30分程度)
会場 小田原文学館本館 一階展示室
費用 文学館入館料のみ
申込 不要

本展のみどころ

- ・近代俳句のあゆみを人物とともに紹介
- ・藤田湘子の直筆資料
- ・俳誌「馬酔木」「鷹」関連資料 など



入館料 大人250円、小中学生100円
(団体・障がい者手帳をお持ちの方割引)
開館 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
休館日 会期中無休
アクセス 小田原駅東口から徒歩約20分
または小田原駅東口から箱根方面行バス
「箱根口」下車徒歩約5分

【関連行事】藤田湘子記念小田原俳句大会

開催日 4月11日(土)
開催時間 午後1時(正午開場)
開催内容 第一部 講演「藤田湘子が遺したものの」
講師 小川軽舟氏(鷹俳句会主宰)
第二部 俳句大会表彰式(小中学生・一般)
会場 小田原市民会館大ホール
入場料 無料

主催 小田原市・藤田湘子記念小田原俳句大会実行委員会
(小田原市・鷹俳句会・小田原俳句協会)
協力 藤田かをり氏
問合せ 小田原市文化政策課0465(33)1709
生涯学習課0465(33)1721

次回特別展示 平成27年秋予定

「没後30年 川崎長太郎」(仮)

川崎長太郎は、小田原で生まれた私小説家です。「抹香町」シリーズは一世を風靡しました。没後30年の今年、彼の業績をたどりま

小田原文学館

神奈川県小田原市南町2-3-4
電話 0465-22-9881